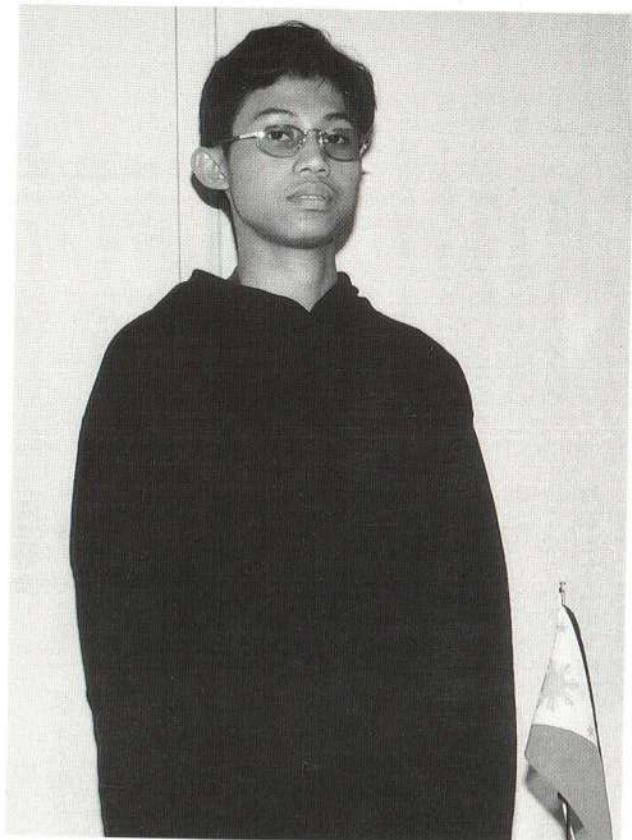


# キラットさん

BE AMBITIOUS

秋田職業能力開発短期大学校

サンチャ・エルウィン・メルカドさん



職能短大には、タイから二人と  
フィリピンから二人の計四人の留  
学生が今年入学しました。今回は、  
その留学生の中からフィリピン出  
身のサンチャ・エルウィン・メル  
カドさんに登場していただきまし  
た。

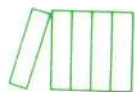
サンチャさんは、二年前、フィ  
リピンの大学二年生のときに留学  
生となるための試験に合格しまし  
た。昨年一年間は千葉市で日本語  
の勉強を続け、今年度、職能短大  
に入学したものです。「千葉市で  
は、同じような留学生十二人で勉  
強していました。三月にそれぞれ  
の学校へと移るためにその仲間と  
別れたときは、少し寂しかった。」  
と話してくれました。それでも、  
入学してからは友達がたくさんで

き、楽しい学生生活を送っている  
ようです。特に、スポーツが好き  
なそうで、日本に来て初めて野球  
をしたそうですが、「たいへん楽  
しいスポーツですね」と目を細め  
ていました。大館の印象について  
尋ねてみたところ、「大館の人は  
みんな親切ですね。日曜日に自転  
車で教会へ行こうとしたら、場所  
がわからず困っていました。そう  
したら、だれかわからない人が、  
親切に地図を書いて、道を教えて  
くれました。たいへん感謝してい  
ます。」

フィリピンには、お母さんと三  
人の兄弟がいるそうで、年に一  
度は帰国しているそうです。し  
かし、お父さんが別の国で働いて  
いて、一年間会っていないことが  
寂しいとも話してくれました。

職能短大の卒業式には、家  
族全員に出席してもらおうのが  
夢だそうです。また、卒業後  
は、日本の大学でもっと勉  
強したいとも話してくれまし  
た。その後は、フィリピンに  
帰り「技術者として、また  
指導者としてがんばりたい。」  
と、力強く語ってくれました。  
サンチャさんは、日本語が  
たいへんうまく、話す内容も  
しっかりしていました。

今は、短大の友だちはたく  
さんいますが、それ以外の人  
とも友達になりたいとのこと  
でした。



## 私の本棚

中央図書館新着図書



「室内」40年

山本夏彦 著

文芸春秋

まず目次をながめて面白いこの本は、二十代の女性編集  
者を相手の対談形式。くつろいだ話し言葉で書かれており、  
活字が苦手という人にも読みやすい文章となつている。著  
者が主宰するインテリア雑誌「室内」の歩み四十余年を回  
顧しつつ、編集の奥義と妙味、雑誌経営の勘どころなどを  
軽妙かつ縦横に語る。名文章家で知られる著者の、もうひと  
つ顔と魅力がうかがえる一冊である。

### 一般書

- ◇徳川秀忠上・下(戸部新十郎)◇鎖の環(高木彬光)◇ツインス(吉田直樹)◇両性具有の美(白洲正子)◇天使の墓(花木深)◇101号室の女(折原一)◇聖母の鏡(原田康子)◇吸血鬼(赤川次郎)◇アンダーグラウンド(村上春樹)◇ボディ・レンタル(佐藤亜有子)◇龍平とともに(川田悦子)◇もう一度逢いたい(森繁久彌)◇女たちのジハード(篠田節子)◇船上にて(若竹七海)◇隼小僧異聞(佐藤雅美)◇大人の「女」にならなさい!(石井苗子)◇シンブル・サイモン(ライン・ダグラス・ピアソン)◇サンタ・エビータ(トマス・エロイ・マルティネス)◇救出者(マレク・アルテル)◇在日韓国人三世の胸のうち(李青若)◇血圧はウソをつく(渡辺尚彦)ほか
- ◇トラックマमारろつくろろ(長崎夏海)◇スズメぼうし(たつみや章)◇ともだちクビクビこわい話(木暮正夫)◇大さまダイエット(たかしまおみ)◇なきわらいのいばりんぼう(二色悦子)◇よるのどうぶつえん(矢部美智代)◇天とくつついた島(立松和平)◇ぼよんのほら(板橋敦子)◇アリスの見習い物語(カレン・クシュマン)ほか

### 5月のテーマ関連図書コーナー

#### 親子読みかせ会

5月2日 14時30分

#### 中央図書館の休館日

5月3日、4日、5日、18日、22日

「親子」